

2022 年度事業報告

【1】公益事業の部

1. 一般研究助成

1. 第42回一般研究助成対象者の論文をまとめて「がん治療のあゆみ」第42巻を刊行した。
2. 第43回一般研究助成は、応募件数 がん薬物療法で49課題、医療機器14課題を審査し、がん薬物療法で4課題、医療機器課題2題を選考した。
3. 第42回研究発表会、第43回一般研究助成贈呈式を開催した。(2022. 12. 16)。

令和4年度 第43回一般研究助成金受賞者および研究課題は次のとおり。

【がん薬物療法部門】

応募者氏名	応募者所属施設	研究課題
稲葉 秀文	日赤和歌山医療センター 糖尿病内分泌内科 副部長	がん免疫療法における内分泌腺およびネオアンチゲン交差提示機構の解明
嬉野 博志	広島大学原爆放射線医科学研究所 共同研究講座 准教授	慢性骨髄性白血病（CML）の無治療寛解維持達成のためのCML幹細胞制御免疫機構の解明：HLA拘束性T細胞が規定するCML関連エピトープの同定及び細胞障害性T細胞の果たす役割の解明
木下 郁彦	九州がんセンター 呼吸器腫瘍科 医師	Interleukin(IL)-36 Family の肺癌微小環境における役割の解明
美馬 浩介	熊本大学病院 消化器癌先端治療開発学寄附講座 特任助教	全身性炎症と癌免疫微小環境に着目した肝細胞癌に対する免疫チェックポイント阻害剤の感受性に関わるバイオマーカーの探索

【医療機器部門】

応募者氏名	応募者所属施設	研究課題
武藤 淳	藤田医科大学医学部 脳神経外科 講師	悪性神経膠腫に対するインドシアニングリーン（ICG）および近赤外線を用いた術中リアルタイム蛍光診断確立と治療法の開発
良元 俊昭	徳島大学 消化器・移植外科 特任助教	大腸癌に対する、青色LED光を用いた新たな光治療法の開発

2. 臨床研究

JFMC34-0601：ホルモン陽性Stage II, IIIA, 閉経後乳癌に対するエキセメスタン24週間術前治療の有用性の検討（臨床第II相試験）

1. 最終論文を作成中。

JFMC41-1001-C2（付随研究）： Stage II /Stage III 結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としての mFOLFOX6 療法の認容性に関する検討ーオキサリプラチンの安全性指標に関する策定研究ー

1. 英文論文を発表した。（Cancer Medicine doi:10.1002/cam4.5541）

※JFMC47付随統合解析

2. 遺伝子統合解析を実施中（JFMC47付随統合）

JFMC44-1101： 治癒切除不能な進行・再発胃癌症例におけるHER2の検討ー観察研究ー

1. 終了報告書を作成した。

JFMC46-1201：再発危険因子を有するStage II 大腸癌に対するUFT/LV療法の臨床的有用性に関する研究

1. 学会発表を行った。（ASCO-GI2023 2023.1 サンフランシスコ）
2. 英文論文（3年DFS）を投稿中
3. 英文論文（最終解析）を作成中。
4. 認定IRB（CRB）へ変更、終了申請を行った。

JFMC47-1202-C3（付随研究）： Stage III 結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6 療法またはXELOX療法における5-FU系抗がん剤およびオキサリプラチンの至適投与期間に関するランダム化第III相比較臨床試験 付随研究

1. 英文論文を発表した。（Cancer Medicine doi:10.1002/cam4.5541）

※JFMC41付随統合解析

2. 遺伝子統合解析を実施中（JFMC41付随統合）。

JFMC48-1301-C4： 再発危険因子を有するハイリスクStage II 結腸がん治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法の至適投与期間に関するランダム化第III相比較臨床試験

1. EDCによるデータ回収を行い、データ処理を行った。
2. EDCのシステム改修を行った。
3. 学会発表を行った。（第60回日本癌治療学会 2022.10 神戸）
4. 認定IRB（CRB）へ定期報告（2022.4）、変更申請（2022.6, 11, 2023.2）を行った。

JFMC50-1701-C6： ロンサーフ（TFTD）使用症例の後ろ向き観察（コホート）研究

1. 英文論文を作成中。

・2022年度 臨床研究明細一覧は次のとおり。

2023.3.31現在

JFMC	集積期間	追跡期間	登録施設/参加施設	集積数/目標数	現在の状況
34	2006.3-2007.12	~2018.8	30/37(81.1%)	116/110(105.4%)	英文論文作成中
41付随研究	2011.1-2012.12	-	100/128(78.1%)	486/800(60.7%)	最終解析中
44	2011.9-2012.6	~2015.7	157/200(78.5%)	1466/1200(122.1%)	終了報告作成
46	2012.5-2016.4	~2021.4	321/395(81.0%)	1230/1200(102.5%)	英文論文作成中
47付随研究	2012.8-2014.12	-	159/244(65.2%)	893/1200(74.3%)	最終解析中
48	2014.2-2017.1	~2024.1	102/170(60.0%)	525/500(105.0%)	追跡中
50	2017.6-2017.11	-	127/142(89.4%)	1770/1200(147.5%)	英文論文作成中

3. データベース事業支援委員会

1. 2020年度に採択された6研究の解析を実施した。
2. 解析結果の論文化・公表関連業務を行った。

4. 医療機器委員会

1. 第1回医療機器講演会を開催した。(2022. 8. 3)
2. 第8回(2022. 6. 1)、第9回(2022. 8. 30)医療機器委員会を開催した。

5. 利益相反委員会

1. 第5回利益相反委員会を開催した。(2023. 3. 29)

6. がん社会イベント啓発活動

1. 「がんフェア2023～AYA世代と共に～」(2023. 6. 17～18)の開催に向け、企画立案、協賛依頼・後援依頼・助成金申請等を行った。
2. 第2回実行委員会を開催した。(2023. 3. 8)

7. 広報活動

1. WEBサイトによる広報活動、がんフェア特設HPとSNS(Instagram、YouTube、Twitter)開設した。
2. がんの啓発ロゴ、イラストの作成等を行った。
3. 当財団ホームページにおいて諸事業を適宜情報発信するとともにメールマガジンで事業報告を1900名以上に配信した。

【2】収益事業の部

1. 医療機器事業

1. 弾性ストッキングの製品評価を目的とした共同調査書の作成をした。
2. 広報及び情報収集活動としてメドテックジャパンへ出展した。(2022. 4. 20～4. 22)